

天上界のプログラムが働いて、 もう間もなく地球はユートピア社会になる

1. 今何を思うべきか

イエス・キリストとは、天と地を意味する。

イエス—結果のある肉体で人間—結果

キリスト—天であり命そのもの—原因 仏陀も天皇も同じ意味

キリストを通さないと天へ帰れない キリストは神の1人子—神から生れ神へ帰る

人は天と地、肉体と生命の分離を考えている—全ての人々が神の1人子

罪を認めた者で 天へ帰った人は1人もいない

人を許さない者で //

原因と結果は表裏一体 この境地にある事を悟りと言う。

全ての根源の世界である源へ…生命と法則に全てをまかせる—解脱と言う。

全てを飲み込み（許して、認めて）神の宇宙生命に静かに錨を降す。

もしあなたが肉体を持って自分の使命を自覚しているなら、根源の世界はあなたを用いることになる。

今、世界で起きている下剋上の動きを、恨み、憎しみではなく愛に変えるしかない。

今、世界の現象世界に発生していることは、偽我、自我、肉体の我が起こしている混乱が今の世界。これに振り廻されてはならない。混乱してはならない。

世の事象は我が内なる愛の光には勝てない。指一本触れることは出来ない。

愛の光は全智全能で無限大の宇宙生命

この愛の光につながるとこの力が使える自分になること、神は全ての下僕であることを知り、理解すること。

悟った者ほど稲穂のように、こうべをたれる。素直に謙虚になれる。

先生は常に生徒でありなさい。学ぶ姿をキープしなさい。

今キリストの名を語りながら本質を知らない教師、指導者、権力者がなんと多いことか…。

命そのものがキリストであり神、全ての本質である命が全ての人間の中に存在している。宗教、イスラム教、アイシル 間違ったことを説いている。

感情ではない、理性でもない—愛そのもの、これが真理。今の科学教育、真理を知らない。この世の指導者、金持、権力者、肉体中心、自分ファースト 完全に間違っている。

2. 今年何が起き、これから何が起きるのか。真理は汝を自由にする。

(1) 2017年 浄化の年

天変地異、異常気象、事故、災難、争い、災い…物質界、地上界、外の世界には浄化の嵐が吹きまくっている

内の世界では、自分で浄化の出来ない者が、罪が表に出てあばかれている…金々、物々、自分ファースト、争い、恨みの連鎖 自分で、内からみそぎの出来ない者が刈り取られていく…愛と調和の法則を犯したから

浄化は刈り取りのこと、何が刈り取られるのか

①肉体と生命の一体を認めない肉体主義者、物質主義者…自分ファースト

自己主張の強い者…人を愛さない、恨み、うらみ、憎しみ、怒りの心 権力指向者

②政治家、官僚の自分ファースト 世の中、権力と富が一部にのみ集中するから紛争が生じる。大衆が貧困となり、奴隷化している。

金持、権力、闇の組織、権力闘争社会…カルマを作る—刈り取られる

③貧困、犯罪、戦争、紛争…恨みつらみ、憎しみ、怒りの思いと行動

④民族、宗教、戦争…上辺の知識に走り、真理を知らない宗教—アヘンより恐ろしい

⑤自分ファーストの国、うそと恨みの国は刈り取られる 大きいものは生き残れない
北朝鮮、韓国、米国、中国、ロシア、EU、英国、イスラエル etc.

役割を果す国—日本と大和民族 本来のユダヤ民族が大和民族に協力するようになる

(2) 2017. 2月からの大展開

天上界はこれまで地球に三度の大陸沈没により多くの人類が滅亡して来たことから、今回は沈没を避ける対策を行って来た。人類生き延び発展作戦

①人類に知恵を与える…直観、啓示、閃めき、人類指導者の地球への派遣

3200年にモーゼ…義を説き十戒を授かる 旧約聖書を遺す

2500年に釈迦…法を説き 仏教を遺す

2000年にイエス…愛を説き 新約聖書を遺す

現代に知花敏彦、上江津義彦、サイババ、助安良吉 他

②人類に智慧の図書館を残し、大陸沈没の原因を対策出来る智慧を残した…ギザのピラミッドの秘密の地下室

ここに入ることを許された人物は3名のみ…モーゼ、イエス、知花敏彦

秘密の地下室にはモーゼの杖、ノアの箱船（UFO）、旧約聖書と新約聖書の原典等が保管されている。

さらにフリーエネルギー発電装置も今も稼働している。知花敏彦氏はフリーエネルギー発電装置の開発に成功している（1999年、超小型の装置）。

③天上界は人類の進化のプログラムを策定して実行した。

2万年間続いた感情タイプを精神タイプ（理性タイプ）へ進化させ、ゴールは霊性タイプを目指す。

感情タイプは感情に支配される自分ファーストのタイプ、感情を押さえ、共存共生する理性タイプになれない。エネルギーが低いから感情を押さえることが出来ないから、人々のエネルギーを強める必要があった

その為にAD2012年からAD2016年まで地球のエネルギーを強めた。

感性の高い人は強いエネルギーによって益々感性を高めていくことが出来た。感性の低い人はエネルギーに耐え切れず体が病気となり、心のストレスが強くなり感情を爆発させた。

世界中に心の切れた人の犯罪事故が多発した。

この現象を人々はフォトンベルトとかアセンション（次元上昇）とかと呼んでいる。

5年間地球を強いエネルギーに満たし、太陽がまぶしく見えた。

しかし、この動きを2017年に入って変化させている


④2017年に2月から天上界の動きが一変した。地球のエネルギーを高めて人類進化をさせる動きはもう終わりとした。2月から逆にエネルギーを落とし始めた。

時間は本来地球にはないもの…久遠の状態とは時間が存在しないから

しかし平安時代と今では、時間の経過スピードが相対的に異なっている。

平安時代の1年間に起きたことが、今では1ヶ月もたたないで起きている。

時間のスピードが速くなっている。

波動が粗いか精妙かで差が出てくる。 

精妙になると相対的な時間が速くなる。

何故時間を遅くしたのか。時間が遅いと悪いことをしても反省する時間が与えられる。

地球の時間の経過が速くなると反省する間もなく、すぐに処罰される。

悪いことをして、それを隠す為に嘘をついても人に見破られることがない。

その為、天上界は地球の時間の経過を遅くして、悪がバレてあばかれるように時間を遅くしたのが2017年の2月から。

悪をあばき、ウソをついてウソを重ねてもバレるように仕組んだ。

水星の回転軌道を逆回転させ、時間に急ブレーキをかけた。

日本では総理官邸、内閣府が国家予算を不正に使っていることが、国民の目にバレバレとなって、総理支持率が急落した。

評論家や学識経験者の予測が見事にはずれるようになった。

2017年3月までは自分が進化するか、否かを定める決定権が自分にあったが、もう時間切れとなり、この時点で最後の審判が判定されることになった。
光を見て光へ歩む人は、まだ救いの道が残されているが、闇を向いている人の方向性が決定された。闇を向く人はカニの横ばいの歩みのように、ゴールにたどりつけない。
広き門で滅びに到る門から入る人は多い。広き門から入る人は光と闇の識別が出来ない人。闇を求める人は闇に飲み込まれることになる。

潜在意識を働かせ、真理を理解出来る人と表面意識という物質界、闇の世界しか見ない人との区別された。

第1から第7までのチャクラが活性化する人は天と地を繋ぐ人となる。

第1チャクラ（仙骨、尾底骨）のクンダリーニチャクラが働かない人は生命の火がつかないから、額にある第三の目にあるチャクラが開かない。白光、オーラが体から出ない…これを火祭りと言う。オーラが放出され、第三の目から光を放つと天と地がつながる、このタイプの人天が世直しの為にこの人を用いることになり、次元が変わってくる。火祭りの出来ない人は闇に飲み込まれていく。

⑤ 2017年4月から地球は新しい時代へ移行する準備に入った。

地球の磁場、気の流れが変わって、悪をあぶり出す次元へ入った。

悪があぶり出されることになる。自殺者、事故、ウイルス病が増えている。

2017年5月から沖縄では月桃の花が一斉に咲き始めた。狂い咲きのように。

今年の異常気象や天変地異を予知したから、ウイルス病も流行る。

月桃はウイルスを殺菌する力がある。

5月には野菜や薬草の種を播いても発芽しない状態が多くなった。


熊が全国で人家の近くに出没して、人を害するようになった。



熊は今年異常気象となり、食べ物が増えることを予知している。

以前御嶽山が噴火した時、噴火の1ヶ月前から山頂にいた熊が麓に移動を始めた。地下のプレートのずれにより異常な電波を発生し、これを察知した熊が山頂から安全な下へ移動したから。

4月以降に出会った人で、気の合う人がこれからの友人、チームメンバーとなる。目覚めた人と出会う。日本には光の天使が682名、世界中の43%の比率で天上界から派遣されている。世界各国中一番多く日本へ派遣されている。人々の活動は100人100通り、1000人いると1000通りの1人1人の活動が異なる。

活動には基本パターンが3つあり、直流タイプ以外は刈り取りや紛争が生ずる。

①take&take  パルス波動…自分さえ良ければ イライラ 憎しみ 怒り
破壊の波動…天変地異 異常気象 事故 災いを招く

- ②give&take  交流活動…善悪の木の実を食べる 阿修羅 笑いと怒り
揺れ動く心 普通の人タイプ
- ③give&give  直流活動…不動心 静寂な心 共存共生 天上界の波動
このタイプは天上界の支援を受ける 上手くいく

天上界は人類の進化をプログラムしている。一黄道帯の2万6千年毎のサイクルのどこかの時点でムー、レムリア、アトランティス大陸が沈没している。

天上界は次の大きな大陸沈没が起きないように、人類を進化させている。

今回は、大きな大陸沈没が起きないように対策に成功している。

その為に、霊界と幽界の整理はもう終わっている。

幽界はパルス波動の人を受け入れていない。「ここは光の波動の世界です。闇の波動は知りません」この魂は浮遊霊としてこの物質界をさまよっている。低い波動を出す人の体内に入り込み、争い、犯罪を犯す。これを憑依霊という。

心のキレた人、自分ファースト、感情を抑制出来ない人に取り憑いて災いをなす。

2017年6月22日から気の流れが大きく変わり、嘘が完全に通らなくなった。低級意識体や浮遊霊が整理されたから、気の流れが変わった。

6月22日までの3日間、日本列島を豪雨が襲った。浄化の雨。

7月からはサタンクラスの人々の刈り取りが始まっている。

エネルギーが一変し、虚のひずみが表面に浮かんでくる。

悪い者、悪いことがあばかれる。日本の政界でも辞任が相ついだ。

7月にある感性の高い人に降りたビジョンでは、世界地図のビジョンを視せられたが、地図から中国と韓国が消えていた。韓国と中国はカルマを作る国、恨み、自分ファースト。

3. これからの人類社会はユートピア社会となる

(1) 天上界の人類進化プログラム、青図面は完全に出来上がっている。

ユートピア社会 エデンの園

このユートピア社会実現の為に、必要のないもの、邪魔なものが刈り取られていくことになる。

新しい創造の為に、創造の邪魔をするものの破壊が必要となる。21世紀に続いている様々な社会経済現象、天変地異、異常気象、事故、紛争、災い現象は破壊の為に起る現象。イエスは語っている。「新しい革袋には、新しいワインを入れなさい」と。

(2) 天上界は宇宙の法則・永遠の真理、絶対なる真理で再現率は100%単純明解

…を創り出し、宇宙と自然界、そして地球に起きる一切の現象をこの法則で管理し、支配している。そして人類進化のプログラムを策定し、実行し、人類と地上界のありとあらゆることを管理し、一切を支配している。

このことを担当しているのがシャンバラの会議体で、必要に応じて会議を開催している。メンバーは全智全能の智慧を使える意識体しかメンバーになれない。

21世紀の始めの段階でのメンバーは33名、議長は創造主と意識体(超高次元)の人30名と肉体を持った人間が3名…この人たちは幽体離脱してこの会議に参加している。リーダー格が知花敏彦氏、インドのサイババ、米国のボストン市の女性。

会議の開催地はほとんどが日本の富山県。

シャンバラの会議体は、人類1人1人の進化のプログラムの実行、宇宙空間にいる約600億の魂、意識体の管理、地球で起きる全ての現象の管理を行っている。雀1羽も砂漠の砂の1粒も全て管理している。

地球を管理する主要な意識体のメンバーは、モーゼ、釈迦、イエス。

(3) モーゼの意識体からのメッセージ

・この3200年間、人類は進化していない。いや逆に退化している。

物質文明は発達したが、霊的文明は退化してしまった。

人々が目覚めないと、地球が破滅してしまう。目覚めなさい。地球を救いなさい。

・日本を中心に世界が変わる。日本発信のものでないと世界が変わらない。

日本は言霊の幸う国、今言葉が崩れている。言霊、数霊は法則そのもの。

・日本からイスラエルへ、昔間違った情報が流された。宇宙の法則に基づく正しい情報を伝えなさい。



六芒星

正しくは



カゴメの紋・日本の紋


*古事記 岩戸隠れと岩戸開き … イエスの十字架の死と3日後の復活
カゴメの唄 鶴と亀が統べる 後の正面誰れ

この予言と伝説の本当の意味

21世紀に天照（大和民族）が世界のリーダーとなる。ここ2000年間はユダヤ民族が物質文明を発達させ、世界を裏で支配して来た。しかし物質文明が崩壊して、精神文明—日本の時代となる。本来のユダヤ民族が日本民族を支援する。

日本—鶴、天、光 ユダヤ—亀、地、闇

物質文明とイスラエルの崩壊—岩戸隠れ 精神文明と日本がリーダーへ—岩戸開き後の正面が表に出ること。日本民族とユダヤ民族は表裏一体の関係にある。

日の丸  …白も赤も純血の意味…混ぜると桃—桃太郎の鬼退治

○は無限大、無限軌道—永遠に発展 日の丸—ほのぼのとし、希望を与える

(4) 天上界が主導した日本列島と日本民族、日本民族は21世紀の世界のリーダーへ

1. 21世紀 日本民族が世界のリーダーになる

シャンバラの世界 20世紀に人類指導者12名を地球に派遣

4名は日本人、内2名が沖縄人 12名のリーダー格 知花敏彦氏

12名中シャンバラの会議メンバーは3名 リーダー格 知花敏彦氏

人間として光の天使1600名を世界に派遣 682名 43%が日本へ

モーゼもイエスも日本へ来て、当時の人々を説いた。

2. 地球の創造…日本列島…地球の中心、親

①東の先端 日出づる国 天照大神の集う国—日本列島のみ

②日本列島を根分けして大陸と島々を創った—日本が親 他の世界が子

③地球のエネ르기ー軸 八ヶ岳とパラグアイ

3. アトランティス大陸沈没…2万6千年前—今のAD1999年がそのタイミング

精神文明のリーダー達がノアの箱船（UFO）により日本列島とその周辺に移住させられた—アイヌと沖縄の人—アトランティス人

モーゼもイエスもシャンバラの会議参加の為に日本を度々訪れた。

旧約聖書系も新約聖書系も日本が世界の中心であることを知っていた。

10支族+2支族+レビ—日本へ来ている。レビは日本人（四国の人）。

AD1999年 日本列島沈没のプログラム—これを知花敏彦氏は防ぐことに成功…

ノストラダムス、古事記、カゴメの唄、サルカニ合戦、桃太郎伝説

ノストラダムス…1999年にUFOが来る、大陸が沈没するから。

しかし、白髭の赤い1つ目の爺さんが現われると私の予言はくつつがえされる。

太陽の国から、新しい宇宙科学を説く人が現れ、世界は発展する。
ノストラダムスは日本が世界のリーダーになると予言している。

4. シャンバラの会議体による未来の予言

①日本が世界のリーダーになる。南米へ移住していた知花敏彦氏と上江洲義秀氏に、日本へ帰るようにメッセージを伝える。

2人とも日本、沖縄へ帰国する。

②知花氏へメッセージが降りる

霊太陽は日本から昇る。霊太陽は3つある。宇宙に1つ…強烈な光体。2つ目は太陽、太陽は燃えていない。霊太陽の光を反射しているだけ。1年前に氷の小惑星が太陽に14万キロに接近、宇宙科学省とNASAは氷の惑星が当然溶けると予測したが溶けなかったので沈黙を守っている。

3つ目の霊太陽は、人間の心臓の後に位置するコスモ細胞、これは創造主の100%の遺伝子を受け継いでいる霊細胞、全知全能で人間の組織を創り、神経の働きをコントロールしている。超意識とも呼ばれている。

この霊太陽の働きを理解するのが日本民族の使命であり、役割。

これがカゴメの唄の後の正面でもある。岩戸開き、天照大神が世に出ることでもある。人間の本质が宇宙生命にあることを知る—このことが悟りそのもの。

③聖書には「神がいずれ万人に説き明される時が来る」と予言されている

神とは酸素と水素とそこに働く法則のこと。人間の概念と宗教が神を捏造して来た。宗教と物質対象の科学の時代は終わった。

神は現実で科学そのもののこと。

釈迦もイエスも宇宙の科学を説いたが、当時の人々には理解されなかった。ユダヤ人とローマ人がイエスを偽物と決めつけ、十字架に懸けた。

聖ヨハネはイエスが正しかったことを証明する為に20世紀の日本に再臨して来ている…知花敏彦氏のこと、洗礼のヨハネも伴に宇宙の科学を説いている。

宇宙の法則は光エネルギー発生の原理と物が創造される元素転換の原理の基礎になっている。

無限供給の技術…世の中が不景気になっても安いコスト、再現率100%で再現される技術、だからフリーエネルギーと言っている。

④人類進化のファイナルが霊性人間…人間の完成と肉体からの卒業

幽体離脱が出来るようになると、サイババのように空気中から物質化現象が出来るようになり、物がとり出せる。あと50年以降か？

⑤ユートピア社会の青図面では、世界はワンワールドとなり、国境がなくなる、争いがなくなる、戦争がなくなる。

ワンワールドになると現行の一番の難問である難民問題が解決することになる。

その時の世界の平和憲法が、今の日本の平和憲法となる。戦争放棄、あと4～5年先のこと。2025年にはユートピア社会は実現することになるプログラムとなっている。

⑥答えはもう既に決まっている

現状泥沼の社会を、どのようにユートピア社会へ持っていくのか。

そのプロセスはもう定まっている。未来の予測は干支にも表現されている。

何千年の歴史の出来事を干支で分析して、それを統計的に分析して予知を行っている。

4 AD2018年から世の中はどう変化していくのか

(1) 干支は語る、その年に起きる変化を…その通りのことが現実起きる。

2017年 丁酉 ひのととり (ていゆう)

丁 一 と 丁 から成る。一は従来の動きがまだ続いている。

丁はその勢力に対抗する新しい動きを示す。つまり新旧勢の衝突が起きる。

それは春から延びて来た陽気が4月から5月にかけて弱くなる時。

酉

酒の醗酵を表す。成る、熟す、飽きる、老いる。

新しい勢力の爆発、蒸発を意味し、新しい革命勢力がつけられる。

情勢事態を悪化させ、反省と混乱を正常に立ち返らせる努力が肝腎である。酉は革命の年を意味する。

聖徳太子はこのことを解っており、この革命の年に当たるので、一七条憲法を制定し、新令を発令した。

2017年は大変大きな変革、革命が起きる。それも4月~5月の時期に生ずる。新旧勢力の衝突とは、魚座のエネルギーである対立、闘争、金々、物々もの人と水瓶座のエネルギーである平和、統合、融合、共存共生を求める人々との分裂が起きる年。

新しい時代の転換期にあたり、努力が必要となる年。

聖徳太子の教えは、和を以って尊し、となす。権力者は下々の人の意見、立場を尊重し、独断で物事を決めてはならない。

争いの原因は徒党を組むことにある。

権力者、金持ち、政治家、官僚が集団となり、自我、物欲を主張し、他人を排除する間違った考えを押し付けることにある。

リーダーは礼を以って人々のために行動せよ。

リーダーはリーダーに相応しい高い見識と意識が必要である。

官は私信を捨てよと聖徳太子は訓(さ)としていた。

世界の現状の状態にピッタリと当てはまる。

2018年 戊戌 つちのえいぬ … 荒れた世界を修復する年

戊: 樹が茂ると風通しや日当たりが悪くなり、虫がついたり枯れたり、根上がりしたり、樹がいたんで枯れる。思い切って剪定をしなければならない。紛糾と衰退が起きる。

文明の末期的過剰状況 一 選定し風通しと日当たりを良くする。

根固めをすると、まだまだ続く。

戊: 幹と枝を示し、生命・創造・造化の過程を表す。

茂ると同じ意味。枝葉、末節が茂って日当たりが悪くなり、風邪が通らない。樹がいたんで枯れる。思い切った剪定が必要

2019年 己亥 つちのとい … 新しい世代に必要な智慧を理解し、実践する年

己：自分自身が乱れを正しておさめる。指導者や政治家は己をたやすこと。

戌の混乱の年のあとを受けて、筋道をはっきり通すこと。

亥：男と女 二人で 孕 を意味する。亥のようなエネルギーを持って行動せよ。果実が種の硬い亥を生み出す。形成する。

翌年の芽を作る。何事かを産もうとしている。

2020年 庚子 かのえね …ユートピア社会が定着し新しい時代がスタートする

庚：前年を引き継ぎ、無いものを償い、継続していく。思い切って更新していかねばならぬ。革命でなく、進化に持っていく。

子：幹と枝が育つ。生命、創造、創造が進む。

(2) モーゼの意識体からのメッセージ

① 2018年

2017年最後の審判の終了…今だかつて地球上に起きなかったことが発生する。その大混乱のあとかたづけの後と新しい時代を迎える準備の年。

イスラエルが新しい聖地となる。今はユダヤ教とイスラム教が聖地の取り合いでモメているが、イスラエルが新しい聖地となる。ユダヤ民族が新しい宇宙科学を日本から学ぶ。日本の首相官邸と地下のトンネルがつながっているビルがあり、イスラエルの人々が官邸に出入りが出来ている。

天照とスサノオの受誓 ユダヤの物質文明の崩壊と日本民族の精神文明の興隆が始まる。ユダヤ民族が日本を支援する。闇のユダヤ勢力が崩壊して、光のユダヤが表に出て日本と協力する。

日本民族とユダヤ民族双方の内部で、岩戸隠れ、岩戸開きが始まる。

② 2019年

見とどける年…しかし物質世界は混沌としている。農薬と化学肥料の大量施肥により、大地がカチカチになるか砂漠化して、泥が風で飛んでいく。

食糧生産が出来ない。超高率農業の手法の普及が急がれる。

宇宙科学の実践、普及の手法、ソフトを学びに、世界中の人々が沖縄、日本に渡来する。

③ 2020年

ユートピア社会の建設の始まり。人類には必ず春が来て花が開く。これを神のみ心、神の創造と言う。

青い美しい地球を人々が元に戻して、子や孫達に健康な地球を戻す行動が始まる年（地球家族2020運動、2020年迄に破壊された地球を元に戻し、人々と生命に生きるように訴えかける）

破壊の波動は地球を破壊するが、愛の波動は地球を救う。最後の審判により、天の蔵に徳を積む人々だけが生き残る。

天と地をつなぐ人々、直観、啓示、閃きを受ける人々が中心となる。

人類の意識が高まると、地球のエネルギーも高まる。

地球の自然が戻ると、絶滅した植物、動物の種が地球に戻る。

現代医学の強制的な生命維持装置や延命治療は人々の魂を傷つけ、あの世で人間として転生を待っている。

600億の魂にも悪影響を与えている。これらが正常に戻る。

創造主は黄金の翼を拡げて、人々の宇宙への帰還を待ちかねている。



河合 勝